

第2回三笠公園等指定管理者選考委員会 会議記録

概要

日時：令和3年10月15日（金） 午後2時00分～午後4時30分

場所：横須賀市役所本庁舎3号館 3階 301会議室
（応募団体控室は303会議室、傍聴者控室は302会議室）

出席者：選考委員 ◎浦田 啓充（一般社団法人日本公園緑地協会 常務理事）
○三浦 勝明（横須賀市環境政策部公園管理課長）
工藤 幸久（横須賀商工会議所事務局次長兼総務渉外課長）
山下 雅人（一般社団法人日本マリーナ・ビーチ協会 理事）
増淵 敏之（法政大学大学院政策創造研究科 教授）
高橋 学（みなと振興部港湾管理課長）
高木 厚（文化スポーツ観光部文化振興課長）
*敬称略 ◎委員長 ○職務代理者
：事務局 小野・千葉・増田・内山・齊藤・竹下・小林・前原・福田・藤平
（環境政策部公園管理課）

傍聴者：19人

議事次第

- ・第2回三笠公園等指定管理者選考委員会開会
- ・非公開での進行についての事前説明（事務局）
- ・公開での応募者によるプレゼンテーション・質疑応答

第2回三笠公園等指定管理者選考委員会 開会（非公開部分含む）

- ・本委員会の委員数は7名であり、指定管理者選考委員会等条例の第4条の規程による定足数の半数以上の出席があることから、本委員会の成立を確認。【各委員】
- ・三笠公園ほか4箇所の応募団体は2団体であり、提出書類を確認したところ、各団体とも応募資格に問題が無いことを確認。【各委員】
- ・当日の応募者によるプレゼンテーション・質疑応答の方法等について確認【各委員】
- ・傍聴者入場（19名）

三笠公園ほか4箇所 応募団体① パークコミュニティよこすか

●プレゼンテーション 20分間

※プレゼンテーション開始前に説明資料（パワーポイントの表示画面を印刷したもの）を配布。

(事前に応募団体から事務局へ提出され、事務局にて内容確認済みの補助資料)

*終了後回収なし

●質疑応答 55 分間

(委員 質問)

- ミュージックエイドランとはどのようなものか。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- スマホのアプリを用いた、GPS が市内の公園や観光スポットなどを通過することでピンが立っており認知し音楽が流れるもの。三浦半島における独占開催権を有しています。

(委員 質問)

- 有給休暇の取得目標は各団体で定めているか。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- シティサポートよこすかでは、有給休暇を最低5日間、それ以外に夏季休暇7日間を3か月の間にすべて取得することとしている。
- トライアングルでは、船員と事務職員で異なっているが、船員は必ず取らなければならないと厳密に定めており、それにならって事務職員も取得するため、かなりの消化率となっている。
- 組合では、取得目標として何日までというのは定めていないが、取りやすい環境となっているので、十分に取っていただいている状況。

(委員 質問)

- LGBT への配慮等は研修をやっていくとなっておりますが、障害者への配慮や施設の提供というところではどのように考えているか。
- ティボディエ邸について、リピーターの確保というところはどんなことを考えているか。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- 障害者配慮としては、まずは窓口対応があり、今回の公園では、バス・その他の予約があるため、その際にみんなのトイレはどこにあるなどを案内していく。
- どのようなきっかけでもいいので価値を認識してもらい、また行ってみようと思っただけのような施策をどんどん打ち出していこうと考えている。もてなす側としては、アテンダントの案内もアップデートしていき、口コミが広がっていくように努力していきたい。

(委員 質問)

- 地域貢献・防災関係ということで、若手防災リーダーとの記載がありワークショップ等の開催とありますが、参加者の人集めはどのように計画されているのか。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- キャリア教育等の会社と現在共同でやっており、高校・大学にすでにつてがあるため、チラシの配布や教員を通じた広報、ポスターの掲示。それからネットにより募集を行う。すでに今年実施した

際は10名程度の参加者が集まっている。

- 中学校のキャリア教育に、シティサポートよこすかで派遣ティーチャーを送っているのですが、中学校の頃から呼びかけを行っていきたいと考えている。

(委員 質問)

- バラ園の魅力を取り戻す、不具合の解消により花を咲かせて見ていただく、という計画ですが、通年性や継続性について考えがあれば教えてください。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- 咲く時期、咲かない時期がある中で、5公園のうちヴェルニー公園については、バラが中心となるためバラが咲く5・6月及び10月になってきますが、他の公園で桜の季節があったりするなど通年見られる工夫をしていくという考えがある中で、特に、平和中央公園においては、花を見せていく公園にするべきだろうと考えがあるため、ラベンダーや季節ごとに咲く球根を植えるといったことを考えて、大小増減はあるがなるべく花が見られる工夫をしていきたいと考えている。

(委員 質問)

- 駐車場使用料がこれまでの実績より少なくみられているが、どのように考えているか。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- 釣銭の管理、機械のリース、キャッシュレス対応に伴う新規機器の導入費などの初期投資の関係から、5年間を通して駐車場会社とやり取りできる金額を記入している。

(委員 質問)

- キャッシュレス対応することについて、利便性の部分は理解しますが、目的があつて公園に来ようとしている人たちにとってキャッシュレス化をお金をかけてまで実施することについて、どの程度費用対効果があるのか疑問があるため考えがあれば伺いたい。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- 釣銭の收受など、昨今のコロナでなるべくお金を触りたくない方も沢山いらっしゃると思います。また、高額紙幣が使えないことも解消すべき課題だと考えていますので、交通系カード・クレジットカードなどすべてが使えるようなものに置き換えていきたいと思っています。

(委員 質問)

- 海洋プラスチックについて何か取り組みがあれば教えてください。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- プラスチックをまず分別することを意識付けしていきたい。また、ごみ拾いを通じて現状を伝えていき、色んな段階で啓発をしていくように思っています。

(委員 質問)

- 土地事情を踏まえた閑散期である冬を盛り上げるための集客材料の要素として考えがあれば教えてください。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- ミュージックエイドランなどにより各公園を結んでいくという取り組みをして、そこで地元でなにかやっていることを知ってもらい、行ってみようと思ってもらうことが非常に大事であると思っている。
- 猿島航路は今年から通年運航を行い冬の平日も意外と来場者がありガイドツアーを充実させ、猿島レストランにおける横須賀ならではの食の提供といったノウハウを5公園にもたらし、入り口を作れば確実に人は来ると確信しているので着実に実行していきたい。
- 三笠公園では、三笠保存会と相談し、チャリティークラシックコンサートを実施しているので継続していきたい。他の事業についてもなるべく冬の閑散期にできないか関係者と相談している。

(委員 質問)

- ティボディエ邸ムービーの利用料金収入の見込みはどのような考えか。
- 一定金額を超えた場合の市への納付金の割合を10%としている根拠は何か。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- コロナの状況で実績が掴めないが、募集要項に記載の金額に達するのは5年間では難しいと判断して積み上げている。5年後にはほとんどのところまで持っていきたいと考えている。
- 割合算出の根拠はない。

(委員 質問)

- 公募したレストランとの連携したヴェルニー公園の賑わい創出・活性化について考えがあれば伺いたい。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- きちんとした調整を行い、駐車場料金はもちろんのこと、各々の強みを生かして互いに補完できるように連携をとって事業を確実に進めて、年間を通してきてもらえるようにしていきたい。
- 距離はあるがよこすかポートマーケットが来年5月にオープンされるため、そちらとの連携を睨みながら、ヴェルニー公園、三笠公園、三笠公園の横にあるポートマーケットをキーとして周遊して来ていただけるようなものを作っていきたいと考えている。

(委員 質問)

- 「駐車場料金のことはもちろんのこと」とはどのようなこととは具体的なイメージがあるか。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- レストラン利用の方については、駐車場料金の一部を指定管理者で負担するといったことは協議の話ではありますが、回転率が上がり、収入増となればそれなりの割引は行っていくということです。

(委員 質問)

- SDG sの話がありましたが、観光庁がサステナブルツーリズム（観光版SDG s）のDMOに全国いっぺんに落としている。観光協会の発展形のような組織があれば連携していけばいいと思う。国的な目線でいいかなと思う。

- 東京都内が規制がきつくてロケができない中、近場でロケをすることが増えているため、公園というのはかなり活用できる。ヴェルニー公園でアニメファンの集いをやってかなり人が集まった。そういうところをうまく使っていくと公園自体の知名度が上がる。全国的になれるかはわからないが、札幌大通り公園程度は目指したいもの。
- パンデミック以降、情報伝達の方法が変わってきたように思う。東京よりソウルのほうが世界的に訴求力持っている。韓流ドラマ・Netflixなど。また、ノンナレーションまち歩き動画（ソウルウォーカー）も 500 本ぐらいあるが、そういうアプローチはできないか。広報が情報発信する映像ではなく、市民が発信する横須賀の街歩き動画が乱立すると世界からアクセス可能なので。色々個性を持っており、日本では特別なので、そういうアプローチをしてもいいのではないかと思う。

（パークコミュニティよこすか 回答）

- DMOについては勉強不足でしたが、つなげるとことはつないでいきたい。
- ロケのところは、猿島は多く問い合わせ来ている。パークコンシェルジュを設置するので、一つの公園に問い合わせ来てもほかにも紹介できると思う。そこでたくさんの露出できるようにしていきたい。
- そういうアプローチ（市民による発信など）をこれからしていきたい。市民が思いおもいに発信するには、市内には場所もなくお膳立てが必要であるため、深田台スタジオでやっていきたい。
- SDGs の DMO は横須賀にはない。だからやろうということで 2019 年からプロジェクトを開始した。
- フィルムコミッションがないので、メディア対応を一元化した。メディアがあるからここで撮影したい問い合わせがあるこれは当たり前で、これからは発信していく。

（委員 質問）

- 観光は集客だが人口減で定住人口をどうするかが課題であり、ワーケーションは首都圏近郊こそ有利だと思っているので、公園の利活用では視野に入ってくると思う。新しいジャンルも考えてもらえれば良いと思うがいかがか。

（パークコミュニティよこすか 回答）

- 先日、平和中央公園の芝生でパソコンを広げている人がおり、まさにその通りだと思いました。
- 宿泊施設が課題の横須賀で近日ホテルが開業し、5公園からちょうどいい距離のため、魅力を伝え環境整備をしていこうと思う。

（委員 質問）

- つづくみんなの猿島プロジェクトの基本的な考え方を 5公園に展開とありますが、5つの公園で具体的にどのようなことをやるのか。猿島公園ではエコステーションの建設とありますが他にはなにがあるか。

（パークコミュニティよこすか回答）

- まずは、考え方を展開していきます。
- 猿島公園のエコステーション機能（分別施設）をどこか1か所でもいいので施設を設けて啓発していきたい。
- ジェンダーの考え方を猿島公園トイレで実現、貧困家庭向けクーポン発行、プラごみゼロ、将来的

には禁煙、ペットボトルの販売をやめるなど、いきなり変えるのではなく、少しずつできることからやっていきたいというのが趣旨となっているので、2030年に近づいていけばいいと思う。

(委員 質問)

- ヴェルニー公園駐車場は大型バスが7台止められるが、ここの機械化はどのように考えているか。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- バスの予約を行っており添乗員がいるので、完全無人はできないと思う。
- 夜間開放があるので普通車については駐車場会社と相談しているので無人化で対応したい。
- コルセールの前についてもできるところは料金を収受する形で駐車場運営を行っていきたい。

(委員 質問)

- パークコールセンターの新設、メディアセンターの設置もありますが、問い合わせ先が多様化してわかりにくくなるのではないかと思うので、これらのすみわけはどのように考えているか。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- 場所は同じ場所だが、パークコールセンターは専用番号を設ける予定とし、メディア対応がかかってきても転送して対応できるようにする。
- メディアは公式情報から問い合わせがあるため、受けたときにどう対応するかが大事であると考えている。うまくやっていきたい。
- 基本的にはパークコールセンターで受ける。

(委員 質問)

- 人員体制の統括コーディネーターはどのような資格の人か。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- 代表企業の本社に配置予定で、資格ということではなく、地域との連携体制を保つこと、JVの連絡をすること、市との連絡調整をすること、各公園を統一的管理ができるように共有する担当。

(委員 質問)

- 施設リーダー・植栽リーダーは副所長兼務か。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- 兼務ではなく、管理員のリーダーで他公園にも技術指導ができる常勤担当職員。

(委員 質問)

- 所長は記載の資格すべてを有しているのが前提という認識でよいか。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- 防火管理者は仕様書通り取得者を配置するが、その他は必須ではない。資格取得に努めていく。

(委員 質問)

- 自主事業実施における公園ごとのコンセプトがあるか。

- 特に力を入れている新規の自主事業があれば教えてください。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- 三笠公園、ヴェルニー公園は、観光的にも断トツの集客であるためさらに増やしていき、それらを起点にほかの公園にも行っていただきたいと思っている。なるべく桜の時期では桜のある4つの公園すべてを回ってもらいたいと思っている。
- うみかぜ公園については、スポーツ広場がありアーバンスポーツのメッカにもなっているので、プロバスケットボールチームによるバスケットボール教室や、うみかぜ公園からジョギング教室を開催していきたい。運動したいけどどうしたらいいかわからない人を広く集めて、来てもらうような取り組みをうみかぜ公園を起点に行っていきたい。

(委員 質問)

- ヴェルニーハウスは学びの拠点として市民が集える場所とあるが、募集要項では公園事務所や休憩スペースとして活用していただくことを想定していますので、そのあたり検討していることがあれば教えてください。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- フレキシブルに考えており、土日の混雑時は待合室、夕方以降は学びの場、朝一でツアーがあるときは座学の間など様々な使用方法を検討していきたい。管理事務所はもちろん設けることを検討していく。

(委員 質問)

- 深田台スタジオの運営方法は検討があるか。また、募集要項では管理事務所、休憩所を設けることとしているが、どのように考えているか。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- 予約方法等は模索しているが、ヴェルニー公園ティボディエ邸シアターの予約で使用しているシステムを利用したネット予約方法の構築を検討中。
- 広い場所であり小部屋があるので、小さいスペースを有効活用できる多様な案を検討中。

(委員 質問)

- 10,000mプロムナードにおける他の施設との連携の想定があるか。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- 片道を走り終点の観音崎から船に乗るなど、船を魅力的に活用し新しい観光プランができると思う。そのほか、バスツアーで活用するなど千差万別なツアーができていくと思う。
- 県立観音崎公園は県内3番目。これまで、県立観音崎公園とはうまく連携が取れていなかったが、次期指定管理者と一緒にやっていく。近隣宿泊施設とも連携していく。起点終点のところでトライアングルの船に乗ることもできる。また、温泉施設のシャトルバス等についてもアナウンスしていき、全体を面として広報していきたい。

(委員 質問)

- 花カレンダーの冬に咲く花が少ないように見受けられる。特にヴェルニー公園は春をメインにしているが、現状では春と秋にバラが咲く。提案書では秋は10月にだけ記号があり、もっと長いスパンでできると思うがどのように考えているか。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- バラは四季咲きのバラというところになるが、5・6月は暖かく多くを咲かせられるため確実にできると思うが、10・11月は5・6月に比べると少ないと思うので提案ではそのように記載しているが、努力はしていきたい。

(委員 質問)

- ヴェルニー公園のバラ園にはいくつかの課題があり、対応策として他施設において育成指導経験のあるバラの専門家を誘致するとあるが、来ていただけるのは確実か。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- 協力企業の関係もあるので、受託できるようになればお願いすることは可能。

(委員 質問)

- よこはまイングリッシュガーデンとの協力体制や情報共有とあるが、具体的に期待することなどの考えはあるか。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- バラの育種指導や講演会のような形を考えている。
- 協力企業の非常に強い関係性があるので、技術的な面での情報共有を考えている。

(委員 質問)

- 人材育成において各種研修を実施していくとあるが、業務従事者は多岐にわたり非正規雇用者に対してはどう考えているか。

(パークコミュニティよこすか 回答)

- 代表企業では、着任時に研修（会社概要、期待すること、接遇やコンプライアンスについて等）を実施。救急救命講習は必ず受講している。
- 職種ごと正規非正規一緒に実施。

三笠公園ほか4箇所 応募団体② よこすか seaside パートナーズ

●プレゼンテーション 20分間

※プレゼンテーション開始前に説明資料（パワーポイントの表示画面を印刷したもの）を配布。

（事前に応募団体から事務局へ提出され、事務局にて内容確認済みの補助資料）

*終了後回収なし

●質疑応答 50分間

(委員 質問)

- 自主事業について、都市公園と港湾緑地は根拠法令が異なる施設だが、都市公園ではどこに力点をおいて集客を行うか。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- 三笠公園、ヴェルニー公園は海沿いで、横須賀の景観を伴っている場所であると認識している。ヴェルニー公園は通行での利用があり、三笠公園は記念艦がある。記念艦とコラボレーションしたイベントなどにより、連携をしていく。
- ヴェルニー公園はバラが有名であるため、いかにバラのシーズンに呼び込めるかに注力していく。
- ヴェルニー公園はローズフェスタ、うみかぜ公園は広い広場を活用した大型イベントを行う。
- 平和中央公園は祭りなどで地域との連携を特にしっかりやっていきたい。

(委員 質問)

- 公園での安全対策について、津波など海辺の防災・対応についてはどのように考えているか。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- 港湾緑地は海辺に近く、三笠公園やヴェルニー公園も護岸のある場所である。最近では地震が多いということもあるので、避難訓練を定期的に行っていく。また、より山側に避難するところ、スタッフ・利用者を混乱なく誘導していくことは周知していきたい。スタッフ教育を実施していく。

(委員 質問)

- ティボディエ邸のムービー利用料について、年間の収入のうち 380 万円を超えた分を指定管理者の提案する一定割合を納付することとなっているが、提案の中で確認できなかった。一年間の使用料の収入をどの程度に見込んでいるか。また、市への還元は直接的な納付による還元なのか、事業による還元なのかの考えを教えてください。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- 年間 380 万円を超えるという試算まではしていない。
- 様々な事業とのコラボなど、今のサービスをベースとしながら利用者に飽きられないようにして収入を上げていきたいと考えている。

(委員 質問)

- コロナの状況が落ち着いて平準化したとしても 380 万円を超える売り上げは難しいという試算か。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- 現在はそのように試算している。

(委員 質問)

- 新しい飲食施設と連携していくという説明があったが、どのような連携や活性化、協力体制ができていくのか、具体的なイメージはあるか。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- 代表企業の西武造園は、グループ企業である鎌倉プリンスと今回の誘致で決定した新規飲食施設とはすでに顔見知りの関係で、ある程度連携もしているため、今後の連携についてもイメージはついている。ヴェルニー公園のジャズイベント時の飲食の提供、ライトアップ、夜のイベントなどで連携していく。

(委員 質問)

- 自動芝刈り機の導入について、5公園は芝がかなりある公園だが、導入によってどの程度のコスト削減が見込まれるのか。また、安全性に問題はないのか。
- 稼働中は近くに人を立たせるなどするか。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- 自動芝刈り機は無人で動くもので、イメージとしては自動掃除ロボットである。夜間も稼働可能で、ワイヤーで刈る範囲をある程度指定するとそこを細かくやっていく。日々動くことで芝カスもあまり出ず、きれいな状態を保つことができる。この業務を今まで委託業者に任せていたので、その分のコスト削減ができる。
- 安全性に関しては、障害物に当たると止まるようになっている。
- 利用者が入るような場所であれば管理する者は配置する。閉じることのできる場所であれば単体で稼働させることもできる。

(委員 質問)

- 平和中央公園での事務関連業務の集約が提案されているが、許可申請の受付や使用料の納付等は平和中央公園で一括して行うのか。また、一般的な問い合わせへの対応は各公園で行うことはできるか。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- 各種申請や問い合わせ対応などは、各公園で行う。事務の統括管理とは、社内の経理処理等のことを示しており、それらを平和中央公園で一括することで効率よく行えるようにすること。

(委員 質問)

- 自主事業について、公園ごとのコンセプトの設定はあるか。特に力を入れている新規のものはあるか。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- 実績に基づいたものを継続して行っていく。三笠公園では映画祭や音楽イベントはこれまでやってきた。高校生バンドイベントやリトミックなどを取り入れていこうと考えている。さらに、ヴェルニー公園ではイマーシブ演劇やクリスマスイベントやライトアップなどを新たに行っていきたいかに集客していくか。
- 平和中央公園は、地域の盆踊り等もあるが、慰霊祭も含めたスカイランタンなど、みんなが参加できるようなイベントを行う。
- うみかぜ公園や海辺釣り公園では、港湾的なイベント（マリンスポーツやアーバンスポーツ）に加え、(株)ウェーブマスターによるダンスイベントや音楽イベントにより賑やかしをしっかりと行ってい

く。また、釣り客やその家族等をいかに巻き込んでいくかに力を入れる。

(委員 質問)

- 平和中央公園はルートミュージアムのサテライトの位置づけになっているが、米が濱砲台跡の活用や近代遺産を活用したイベントは検討されているか。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- 具体的なイベントは特に提案していないが、他の歴史遺産とあわせて周れるようには考えていく。
- ルートミュージアムと関連させたオリジナル周遊コースを提案している。内容についてはまだ未定であるが、歴史遺産や市として推していきたいものを盛り込んでいくことを考えているため、その中に取り入れていければと考えている。

(委員 質問)

- 文化会館の2階の利用では、コンビニのシステムを取り入れるとあるが、どこかと提携して行っていく計画はあるか。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- どこの企業というのは確定していないが、これから検討していく。

(委員 質問)

- 平和中央公園について、これまであまり大きなイベントを実施していない公園だが、これからいろいろな事業が展開してく中で、地元理解をどのように得ていくかに課題になると考えている。また、自主事業の開催についても、地域住民からの提案で展開していくという計画になっているが、意見の募集方法についてはどのように考えているか。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- 住宅地が近く、4つの自治会が近隣にあることは理解している。
- 自治会に出向いて会合に入っていく、まずはそこで意見を集約するところからだと考えている。
- 地域の協力がなければできないため、連携をしっかりと図っていく。

(委員 質問)

- ヴェルニー公園の管理許可施設のレンタルスペースとしての利用について、一般の予約が入っていないときは休憩所や軽食販売として使えるのか。またレンタルスペースとの使い分けについて説明していただきたい。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- ある程度区分けは分けてしていく。利用者が多い場合にどうするかはこれからの協議になる。
- 平日利用が少ないことが予測される。そこを活用していかなければならないため、ワーケーション等で周知を行う。

(委員 質問)

- 子供用ライフジャケットの貸し出しが提案されているが、これは釣りをを行う場合のルールとして定

めるのか。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- 子供に対しては無料で貸し出しすることを考えており、申し出があれば無料で貸し出す。

(委員 質問)

- 市外・県外からの利用客誘致について、ウェブアクセシビリティを改善していくという提案もあったが、新規顧客の開拓にあたって、ウェブサイトでどこをターゲットとし、どんなコンセプトで情報発信をしていくのか。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- ターゲットについては、公園の特性もあるので、一概に同じようにということではないが、港湾緑地はレジャーで来る人が多く、家族連れがにぎわいの中心ではないかと思う。
- 平和中央公園はそれよりも少し上の世代の人や地域の人が多い。「平和」とついているので静かなイメージがあり、利用者は上の世代の方ではないかと考える。
- 三笠公園は記念艦もあるので、イベントでの若い世代の利用や、学習する場として小学生等の利用が考えられる。
- ヴェルニー公園は景観というところもあり通行人も多く、多岐に渡るのではないかと。

(委員 質問)

- 一番 PR したいところはどこか。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- やはり家族連れで賑わったほうが利用者の方が増えていくと考えている。
- イベントを多くやっていこうと考えている。イベントも細分化されており、来る人も様々だが、基本的な施設・公園の紹介はしつつも、そこで行われるイベント・コンテンツに紐づくターゲットはより明確になっている。そのターゲットに向けて周知し、横須賀の各所を知ってもらい、という展開をしたい。

(委員 質問)

- 音楽イベントが提案されているが、横須賀の音楽イメージをどこに持っているか。
- あまりシティポップと横須賀は紐づかず、都内のイベントであれば、シティポップで街歩きしてアナログを買いに行くなど循環が考えられるが、横須賀ではそういった経済効果を与えていくことがなかなかできないのではないかと。
- どちらかというシティポップはインドア派の人がリタカッティングやリズムセクションを楽しみに来るといったイメージのため、野外イベントにはあまり向かないのではないかと感じるがどのように考えているか。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- シティポップは海外では人気で、湘南や横須賀を中心とした三浦の風景はシティポップに合うと感じている。提案書にもある鈴木英人氏の絵・イラストも湘南・横須賀エリアのものを描かれているものもあり、絵とそこに紐づく音楽がシティポップのアートである。まずはそのような親和性を売

り出していききたい。

- 今後コロナが明けてインバウンド意識しなければならない中で、どのような集客を狙っていくかの一案として挙げた。ニッチなものかもしれないが、ニッチなもの売り出していないと横浜や都内には勝てないため、そこに注力してやっていきたい。

(委員 質問)

- シャワーと更衣室の設置について、マリンスポーツやアーバンスポーツ以外のジョギングする人などの利用期待できるが、水回りの処理が懸念点となり、公園でこのようなものを置いて下水に繋いだ経験はあるか。
- 夏場だけになるのか、需要があればやっていくのか、検討してもらいたい。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- 基本的には仮設トイレと同じで、排水は汲み取りで場外へ排出する。

(委員 質問)

- 海洋プラスチック対策の提案について、シービンなどには関心を持っている。ただ、市や指定管理者ではある程度の回収はできるかもしれないが、根絶することはできない。期待しているのは、シービンでたくさんの量を取るのではなく、シービンの取り組みによって、海に流れるところなる、ということ来園者に啓発・PR してもらうことである。うみかぜ公園以外に、三笠公園やヴェルニー公園でも、常設でなくてもよいが、PR の機会をもつことは検討できるか。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- うみかぜ公園や海辺つり公園に限らずに、啓発や子どもたちへの環境教育を行っていききたい。

(委員 質問)

- 横須賀市はコンテンツの宝庫であると思うが、音楽だけでなくもっと拡張し、文化資源やコンテンツ資源のフットパスを活用する可能性はあるか。
- 例えば平和中央公園ではこれっきり坂など、そういったところをもっとあらってみるともっと魅力をつなげられるのではないか。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- ルートミュージアム構想の中で、たとえ昔からあるものや国にひとつふたつしかないものでも、そのまま打ち出しても伝わっていかないと思う。
- そのような発想はあると思う。

(委員 質問)

- 4 公園は海に面しており津波の心配があり、具体的な避難誘導計画が必要だが、マニュアル等はきちんと整備されているか。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- 今現在、ハザードマップを含め、マニュアルは整備している。

(委員 質問)

- 最終的な避難場所があり、そこへ誘導するようなことがスタッフに徹底されているか。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- 一時避難場所やその先についても、徹底している。

(委員 質問)

- 花修景について、ヴェルニー公園のバラの部分改修とあるが、現状としてどのような課題があると認識しているか。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- 株が古くなってきており、雑草も根付いてしまっているため、土壌改良など検討していきたい。

(委員 質問)

- 公園でのワーケーションについては、どのような可能性を考えてこの提案をしたのか考えを教えてください。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- ボランティアワーケーションやスタディワーケーションなど、よくあるワーケーションというよりもプラスアルファのものであり、それによって学生や働いている人を呼び込んでいければと考えている。

(委員 質問)

- 人員体制では、様々な研修が計画されており、正社員に対しては充実した研修がなされると思う。一方、現場で対応するのは非正規職員のほうが多いと思われるが、非正規職員に対する研修はどのような計画をしているか。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- 現在も、基本研修（個人情報管理、コンプライアンス、安全管理）は必ず実施しており、採用時の新規研修もやっている。これを毎年やっていく。

(委員 質問)

- ルートミュージアムは、コロナ禍で厳しい状況の中で観光政策としてはトップの施策であり、そのトップの中でも1丁目1番地はティボディエ邸の展開である。ティボディエ邸の展開の中でもトップはシアターであり、シアターには相当の投資がされている。
- コロナで先が見通せない中でも、限度額 380 万円というのは相当の見込みを付けた中でだいぶ落として設定した数字であるが、提案では年間の売り上げが 380 万を超えないという考えが示され、どこまでルートミュージアムや横須賀市の姿勢を理解しているか不安なところである。
- これまでの収益から考えると、平準化すればこの金額は超えるだろうと考えている。もし超えないというのであれば、市の方針の姿勢に則った中で、どのようなことをすれば超えて、何らかの還元ができるか。もしくは2年、3年後には超えるかもしれないとなったとき、納付されることができたはずの割合分をどのように還元させていくか。

(よこすか seaside パートナーズ 回答)

- ルートミュージアムの一部として、市の構想もあるので、様々な提案により他施設とのルートをつんでいき、ティボディエ邸へ集約してく。それによって還元できるようやっていかなければならないと考えている。

プレゼンテーション・ヒアリング終了

【事務局からの連絡事項】

終了

【事務担当：横須賀市環境政策部公園管理課管理第一係 小野・竹下・小林 TEL046-822-9799】